

平成 30 年度広島県立呉特別支援学校江能分級公開講演会

1 目的

特別支援教育に係る地域のセンター的機能の役割を果たし、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな教育内容の創造と指導方法の工夫改善を図る。

2 日時

平成 30 年 8 月 1 日（水）13：00～16：30

3 内容

講演：「障害特性に応じた社会生活につながる授業づくり」

講師：広島県立教育センター 特別支援教育・教育相談部 部長 竹野 政彦 氏

分科会：① 各教科等を合わせた指導における授業づくり

② 教科指導における授業づくり

4 対象

江田島市・呉市音戸町/倉橋町内の保・小・中・高等学校教育関係者等



▲竹野部長の講演

分科会（協議）▲ 協議内容（一部抜粋）▼

【協議シート】

<参加者>

〇〇〇〇

「似たような子いるよ!」「〇〇が難しいのかも?」と意見を交わす中で、「今こんな支援をしているよ!」とすでに行っている支援を紹介したり、「〇〇が難しいから、△△してみたらどう?」と皆で考えてみましょう。



児童生徒に見られる困難さ（児童生徒の様子）	考えられる課題（どうして難しい?）	指導・支援
<ul style="list-style-type: none"> ・集中する時間が短い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強に自信が無い? ・やるべきことが分からない? ・感覚過敏?（音、暑さ寒さ） ・他のことが気になる? 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを立てる。 ・順序を写真や絵と言葉で伝える。 ・提示方法を工夫する。（日めくり、写真） ・つい立ちの活用。 ・落ち着く部屋を用意する。 ・座る姿勢を補助するもの（座面シート等）を活用する。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体調が伝えられない。 ・自分の体調が分からない。（困っていることが分からない。） ・成長過程で身につける社会性。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことが考えられない?（公共の場でスボンを下ろしてしまう等） ・何が悪いのか、良いのか分からない? 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調が分かるシール（絵）を用いる。 ・数値化する。 ・写真でとって見せる。

講演では、特にイメージすることを促す指導の工夫や「困難さ」に対する指導の工夫について学びました。分科会では、地域の小中学校の実践を紹介していただき、その後、「児童生徒の困難さ」→「考えられる課題」→「指導・支援」の流れに沿って意見交流を行いました。地域の小学校から高等学校までの異校種間で、効果的な指導・支援について校流できる場となりました。